

レジ袋削減・マイバッグ推進事業の成果について

<目的>

地球温暖化防止とごみ減量化を図るため、生活圏が重複する鈴鹿市と連携してレジ袋削減に取り組んでいる。

<取り組み>

- ・平成 20 年 9 月 1 日 レジ袋有料化実施

両市の実施事業者	スーパーマーケット	10 事業者 31 店舗
	ドラッグストア	3 事業者 15 店舗

※実施後の店舗における実態調査や課題等の聞き取りを実施

- ・平成 21 年 1 月 20 日 実施事業者の追加

両市の実施事業者	スーパーマーケット	10 事業者 31 店舗
	ドラッグストア	4 事業者 19 店舗

※新規に始めた店舗や中止された店舗もあります

<辞退率>

辞退率の報告は、事前協議により 3 ヶ月ごととなっており、一年を経過した平成 21 年 9 月末におけるレジ袋の辞退率は、両市で 89.7%となり、当初の目標値である 80%を上回っている。

<効果>

両市におけるレジ袋削減にともなう効果として

二酸化炭素の削減量 1,073 トン

ごみ減量化量 204 トン

原油削減量 ドラム缶 2,683 本分

<今後の取り組み>

レジ袋の削減については、県下で急速に広がり、市民の方の意識も高まってきているが、今後、食料品以外の業種への拡大、また、商店街等における過剰包装の削減、マイバッグ運動の推進について、各種団体と行政で構成する「鈴鹿市・亀山市レジ袋削減(有料化)・マイバック合同推進会議」の中で、引き続き積極的に取り組んでいく。